



ファンタスティック・エグゼントリック Adolf Wölfli: A Kingdom of 25,000 Pages アドルフ・ヴェルフリの「王」が描いた夢物語 五千人の王国



参考写真：自室のアドルフ・ヴェルフリ 1920年

本展のみどころ

・ヘンリー・ダーガーがいまや美術ファンなら誰もが知る存在となっているように、アウトサイダー・アート／アール・ブリュットは近年注目のジャンルです。

・世界的には、ヴェルフリはアウトサイダー・アートの作家の中でも一番の知名度を誇ります。つまり本展は、アウトサイダー・アートの真打登場の機会というわけです。

・総出品数全74点というまとまった規模の個展は日本で初めて。ベルンのアドルフ・ヴェルフリ財団の全面協力により、門外不出とされてきた第一級のヴェルフリ作品が来日します。

・ヴェルフリの中でも最大級の4メートルを超える作品は必見です。

・東京、名古屋、関西を巡回する本展は、ヴェルフリの名前と作品が日本全国に知れ渡る歴史的な事件として、将来にわたって語り継がれることになるでしょう。

アドルフ・ヴェルフリの「王」が描いた夢物語

25,000 ページ

アドルフ・ヴェルフリ 二萬五千頁の王国

Adolf Wölfli: A Kingdom of 25,000 Pages

ファンタスティック・エキセントリック

アール・ブリュットの「王」が描いた夢物語

開催趣旨

アウトサイダー・アート／アール・ブリュットを代表する伝説的芸術家アドルフ・ヴェルフリ（Adolf Wölfli 1864-1930）の日本初となる大規模な個展を開催します。スイスの首都ベルン近郊の貧しい家庭に生まれたヴェルフリは、1895年にヴァルダウ精神病院に収容され、そのまま66年の生涯を終えました。しかし、彼はそこで、『ゆりかごから墓場まで』、『地理と代数のノート』、『葬送行進曲』といった物語の数々をつむぎだしました。そうしたヴェルフリの作品は全45冊、25,000ページという目もくらむようなボリュームで、ほかに例のない驚異的な表現で描き出される奇想天外な物語はひとつひとつを圧倒しました。

アドルフ・ヴェルフリ財団の全面的な協力のもと、本展には最上級のヴェルフリ作品が一堂に会します。シュルレアリスムの画家たちをはじめとする多くの芸術家たちの注目を集め、現在では偉大な芸術家の一人として世界的な評価を得るヴェルフリの作品を“目撃”する絶好の機会です。どうぞお見逃しなく。



1. プロート・クンスト（日銭かせぎの作品）《聖アドルフ＝王座＝アルニカ：同。/スイス。/》
1917年 ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
© Adolf Wölfli Foundation, Museum of Fine Arts Bern

開催情報

会期 2017年1月11日（水） - 2月26日（日）

休館日 月曜日

開館時間 午前10時～午後6時（金・土曜日は午後8時まで）
※入場は閉館の30分前まで

主催 兵庫県立美術館、神戸新聞社、産経新聞社

企画協力 アドルフ・ヴェルフリ財団

後援

在日スイス大使館、公益財団法人伊藤文化財団、兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸市、神戸市教育委員会、ラジオ大阪、サンケイリビング新聞社、サンケイスポーツ、夕刊フジ、サンテレビジョン、ラジオ関西

協賛 GREG C. K. LIU FOUNDATION

協力 スイス インターナショナル エアーラインズ

企画監修 服部正（甲南大学文学部）

観覧料

	当日	前売・団体
一般	1,400円	1,200円
大学生	1,000円	800円
高校生・65歳以上	700円	600円（団体のみ）
中学生以下	無料	

※前売券は一般・大学生のみ。

※主なチケット販売場所：JTB各支店・総合提携店、ローソン、ファミリーマート、セブンイレブン、サークルKサンクス、ほか京阪神のプレイガイド。

※コンビニ商品番号：0244238

※障がいのある方は各当日料金の半額（65歳以上を除く）。その介護の方1名は無料。

※割引を受けられる方は、証明できるものをご持参の上、会期中美術館窓口で観覧券をお買い求めください。

※県美プレミアムの観覧には別途観覧料金が必要です（本展とあわせて観覧される場合には割引あり）。



2. ゆりかごから墓場まで《黒人の広間》1911年 ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
© Adolf Wölfli Foundation, Museum of Fine Arts Bern

展覧会構成

全6章 出品総点数74点

I. 初期の作品（出品数6点）

ヴェルフリの診察記録によれば、彼がドローイングを描き始めたのは1899年とされる。最初期に描かれた作品は200点から300点程と考えられるが、そのうち現存するのは1904年以降のもので、わずか50点ほどである。さらに新聞用紙に鉛筆で描かれた単色のこれらの作品をヴェルフリは「楽曲」と呼び、そこに「アドルフ・ヴェルフリ、シャングナウの作曲家」と署名した。

II. ゆりかごから墓場まで（出品数22点）

全9冊、2,970ページにおよぶヴェルフリが最初に手がけた叙事詩。752点の絵画とともに語られるのは、主人公の少年ドゥフィ（アドルフの愛称）が、家族とともに世界をめぐる旅行記である。ここではヴェルフリの悲惨な子供時代がわくわくするような物語へと置き換えられている。「フォーゲリ」と呼ばれる小鳥のようなモチーフが初めて登場するが、これはヴェルフリ分身の保護者のような存在としてその後の作品にも度々に描かれるもので、隠れた空白を埋めていく性的なシンボルともみなされている。

III. 地理と代数のノート（出品数19点）

本書は、ヴェルフリ死後に「聖アドルフの＝巨大なる＝創造」を成し遂げるための方法を実の甥であるルドルフに説くものである。「聖アドルフの資本財産」があれば、全宇宙を買い上げ、都市を形成し、すべてにおいて近代化を遂げることができるという。同時に、スイスは「聖アドルフの森」、海は「聖アドルフの海」、アフリカは「聖アドルフの南部」などと改称される。地球の乗っ取りに成功した暁には「巨大透明輸送機」に乗って宇宙へと漕ぎ出していく。

IV. 歌とダンスのノート（出品数14点）

ヴェルフリは「聖アドルフの＝巨大なる＝創造」を祝福する楽曲として、7,000頁以上にわたる途方もない長さの行進曲、ポルカ、マズルカのシリーズを作曲した。曲は階名唱法（ドレミファ音階）で書かれている。それらを飾る作品としては、素描よりも雑誌の切り抜きのコラージュが多い。

V. 葬送行進曲（出品数6点）

全16冊、8,000頁を超える『葬送行進曲』はヴェルフリが自らに向けたレクイエムとも言われる。ここでは、抽象的かつ音声詩の形式による音やリズムが、物語にほとんどとって代わっている。ヴェルフリ創作の第五部にあたる本書は、1930年の彼の死により未完に終わった。

VI. ブロート・クンスト（「日銭稼ぎ」の作品）（出品数7点）

ヴェルフリ精神科医ヴァルター・モルゲンターラーが「ブロート・クンスト（パンのための芸術）」と名付けたドローイングはおそらく1,000点以上描かれ、そのうちの750点が現存する。一部のコラージュを除き、多くはクレヨンで一枚ずつ独立したシートに描かれた。裏面には「聖アドルフの＝巨大なる＝創造」の物語にまつわる記述がある。ヴェルフリ自身は「肖像画」と呼んだこれらのドローイングをクレヨンやタバコと交換し、さらに精神病院の職員や彼の創作を称賛しに訪れる人々に売っていた。制作依頼が増えると助手を雇うことさえあった。絵を売って得たお金はヴァルダウ精神病院の院長が管理し、必要なものを彼に買い与えていた。



3. ゆりかごから墓場まで《エン湖での開戦・北アメリカ》
 1911年 ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
 © Adolf Wölfli Foundation, Museum of Fine Arts Bern



4. 地理と代数のノート《二冊目の大きな本=行進曲》
 1913年 ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
 © Adolf Wölfli Foundation, Museum of Fine Arts Bern



5. 地理と代数のノート《パリの=美術=展覧会にて》1915年 ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
 © Adolf Wölfli Foundation, Museum of Fine Arts Bern

作家略歴

アドルフ・ヴェルフリ Adolf Wölfli

(*) 項目はヴェルフリの『短い自伝 (Short Life Story)』または『ゆりかごから墓場まで』の記述に基づく。

1864年 2月29日、スイスの首都ベルン南西の街ボヴィルの貧しい家庭に七人兄弟の末っ子として生まれる。

1871年 7歳 *父親や兄弟と別れ、母と二人で暮らすようになる。

1872年 8歳 *父親が家を訪れ、母親に暴力をふるい金銭を奪っていく。この頃から契約児童 (verdingkind) として厳しい労働環境に身をおくようになる。里親は年の初め開かれる市で決まり、一年ごとに変わることも珍しくなかった。

1873年 9歳 母アンナが亡くなる。

1875年 11歳 父ヤコブが亡くなる。

1881年 17歳 *一人の女性に恋をする。

1884年 20歳 *兵役が始まる。ルツェルンで1886年まで訓練を受ける。

1887年 23歳 *里親のもとでの労働生活にもどる。

1888年 24歳 *一人の女性に恋をする。

1890年 26歳 少女二人に対する性的暴行未遂の罪で逮捕、2年の禁固刑を受ける。

1895年 31歳 5月12日、幼女に対する性的暴行未遂の罪で逮捕される。ベルン近郊の街ヴァルダウにあるヴァルダウ精神病院での精神鑑定の結果、統合失調症と診断される。医師の求めに応じ『短い自伝 (Short Life Story)』執筆。6月3日、ヴァルダウ精神病院に入院。

1899年 35歳 自発的に絵を描きはじめる。

1904年 40歳 現存する最も古い作品がこの年に描かれる。ヴェルフリは初期の単色の作品を「楽曲 (musical compositions)」と呼んだ。

1907年 43歳 現存する最古の彩色された作品がこの年に描かれる。ヴァルター・モルゲンターラー (1882-1965) が精神科医としてヴァルダウ精神病院に着任する。モルゲンターラーは1919年まで同病院に勤める。

1908年 44歳 物語の要素を持つ作品の制作を始める。この種の作品は1930年にヴェルフリが亡くなるまで継続し、最終的に25,000ページに達した。『ゆりかごから墓場まで』の執筆を始める。同書はヴェルフリ自身の悲劇的な人生を



参考写真：作業机の前で紙のトランペットを持つアドルフ・ヴェルフリ 1925年

色とりどりの挿絵で飾られた壮大な冒険譚として語りなおしたものの。

1912年 48歳 『地理と代数のノート』の執筆を始める。ヴェルフリの実の甥であるルドルフ・ヴェルフリに対して、将来に「聖アドルフの＝巨大なる＝創造」を達成するための方法を指南する内容。それによれば、ルドルフは莫大な「利子もたらす富」によって天体のすべて、全宇宙を購入し、名前をつけなおし、開発し、専有することが可能になる。

1916年 52歳 この頃より作品に「聖アドルフ2世」と署名するようになる。現在「プロート・クンスト (日銭稼ぎの作品)」として知られる、一枚ものの販売用作品の制作を始める。「プロート・クンスト」の制作は生涯続いた。

1917年 53歳 『歌とダンスのノート』の執筆を始める。それは数千ページにおよぶ音声詩や歌、音階、コラージュなどで、「聖アドルフの＝巨大なる＝創造」を祝福するものである。

1919年 55歳 モルゲンターラーがヴァルダウ精神病院を去る。以後マリア・フォン・リース博士がヴェルフリの担当を務める。

1921年 57歳 モルゲンターラーがヴェルフリの生涯と作品を論じる『芸術家としてのある精神病患者 (Ein Geisteskranker als Künstler)』を出版する。

1924年 60歳 『歌と行進のアルバム』の執筆を始める。階名唱法 (ドレミファ音階) で表記され素描とコラージュで飾られた楽譜。

1928年 64歳 『葬送行進曲』の執筆を始める。全16冊、8,404ページにおよぶ本書は自身へのレクイエムであり、未完に終わった。

1929年 65歳 嘔吐を繰り返すようになり、癌が疑われる。

1930年 66歳 3月15日、胃腸吻合術の手術を受ける。11月6日、朝8時10分に逝去。死の4日前にも『葬送行進曲』の完成を望んでいた。

お問い合わせ先

兵庫県立美術館

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1

Tel: 078-262-0901 (代表) Fax: 078-262-0903

取材・写真提供に関すること

営業・広報グループ

Tel: 078-262-0905 (グループ直通) Fax: 078-262-0903

展示内容に関すること

担当学芸員：小林公、河田亜也子、橋本こずえ

e-mail: tkobayashi@artm.pref.hyogo.jp

Tel: 078-262-0909 Fax: 078-262-0913

広報用画像について

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。別紙の申込書をご使用ください。

【同時開催の展覧会】

県美プレミアム

〈小企画〉ハナヤ勘兵衛の時代デェ!!

〈特集〉彫刻大集合

11月19日(土)～2017年3月19日(日)

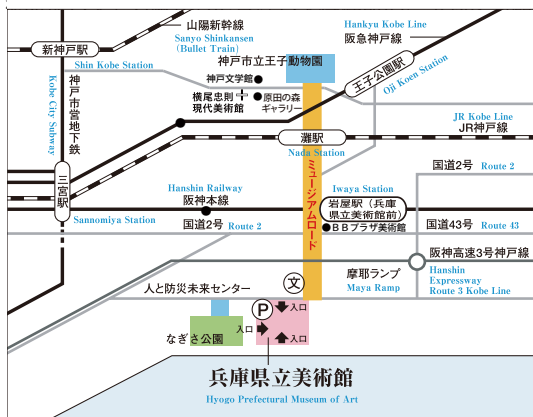
横尾忠則現代美術館

ようこそ！横尾温泉郷

12月17日(土)～2017年3月26日(日)

【交通案内】

- ・阪神岩屋駅（兵庫県立美術館前）から南に徒歩約8分
 - ・JR神戸線灘駅南口から南に徒歩約10分
 - ・阪急神戸線王子公園駅西口から南西に徒歩約20分
 - ・J R三ノ宮駅南から神戸市バス（29、101系統）
 - ・阪神バス（HAT神戸行き）にて約15分、「県立美術館前」下車すぐ
 - ・地下駐車場（乗用車80台収容・有料）
- ※ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください。



関連イベント

記念講演会 その1

「ヴェルフリ 妄想の大伽藍」

講師：斎藤 環氏（精神科医・批評家）

1月21日(土) 午後4時から(約90分)

ミュージアムホール(定員250名)

聴講無料(要観覧券、当日午後1時からホワイエで整理券を配布)

記念講演会 その2

「アール・ブリュットとしてのヴェルフリ」

講師：服部 正氏（甲南大学文学部准教授・本展監修者）

1月28日(土) 午後2時から(約90分)

ミュージアムホール(定員250名)

聴講無料(要観覧券)

学芸員によるギャラリートーク

2月4日(土)、2月11日(土・祝)、2月18日(土)

午後4時から(約45分)

展覧会場にて(定員20名)

聴講無料(会場入口に集合、要観覧券)

ミュージアム・ボランティアによる解説会

毎週日曜日 午前11時から(約15分)

レクチャールーム(定員100名)

聴講無料

おやこ解説会

2月11日(土・祝) 午後1時30分から(約30分)

レクチャールーム(定員20名)

参加無料(要事前申込 こどものイベント係 電話078-262-0908)

特別展 アドルフ・ヴェルフリ 二萬五千頁の王国

2017年1月11日（水）—2月26日（日）

営業・広報グループ 宛 FAX (078) 262-0903

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1 電話 (078) 262-0905 (直通)

ご希望の画像の番号に○をつけてください。後日データ（.jpg）をお送りいたします。

番号	作家名・作品名・制作年 など
1	《聖アドルフ＝王座＝アルニカ：同. /スイス. /》1917年 ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵 ○ Adolf Wölfli Foundation, Museum of Fine Arts Bern
2	《黒人の広間》1911年 ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵 ○ Adolf Wölfli Foundation, Museum of Fine Arts Bern
3	《エン湖での開戦. 北アメリカ》1911年 ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵 ○ Adolf Wölfli Foundation, Museum of Fine Arts Bern
4	《二冊目の大きな本＝行進曲》1913年 ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵 ○ Adolf Wölfli Foundation, Museum of Fine Arts Bern
5	《パリの＝美術＝展覧会にて》1915年 ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵 ○ Adolf Wölfli Foundation, Museum of Fine Arts Bern

※上記作品画像を媒体掲載される際には、記載の**作家名・作品名・制作年**などを必ず入れてください。

※ヴェルフリのパортレイト、同封のチラシ掲載作品をご希望の場合は、下記に作品名などご記入ください。

（ ）

※作品画像は**全図で使用**してください。トリミングや文字を重ねるなど画像の加工・改変はできません。

※画像データ使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできません。（会期終了まで）

※再放送、転載など二次使用をされる場合には、別途申請いただきますようお願いいたします。

※Webサイトに掲載する場合は必ずコピーガードを施してください。

※基本情報、図版使用の確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階で営業・広報グループまでお送り願います。

貴社名			
媒体名	新聞・雑誌・ミニコミ 『 TV・ラジオ・インターネット 』		
ご担当者名			
ご住所	〒		
電話番号		FAX	
メールアドレス	@		
URL			
掲載・放送予定日		画像到着 希望日	
読者・視聴者プレゼント用招待券（最大5組10名まで 本展を媒体でご紹介いただける場合に限りです）	組 名分希望		

※本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体（VTR/DVD）、URLなどを、上記営業・広報宛にお送りくださいますようお願いいたします。

※展覧会場の取材、撮影をご希望の場合は、上記までご連絡ください。事前にご連絡のない取材・撮影はお断りいたします。